OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	語文　第3輯　編輯後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1951, 3
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68384
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編輯後記

契沖阿闍梨が寂したのは元祿十四年一月二十五日である。今年はそれから滿二百五十年にあたるので、この一月の二十六日には大阪高津の円珠庵跡において墓前祭が執り行はれ来阪された久松博士をはじめ、多數の人が參列した。同日午後、朝日新聞大阪本社の講堂で記念講演会が催されて盛況であったことは、すでに本誌の前輯の彙報に記した通りである。なほ五月七日から十二日まで六日間、大阪の三越で契沖展覽会が開催せられて、自筆稿本や写本の類を始め、契沖関係のものが百点近く陳列せられ、連日多くの參觀者があった。本誌が第三輯を契沖特輯号とすることは早くから計画してゐた所であるが、何かと遅れて今やうやくこれを贈り出すに至った。

御執筆を賜った諸先生方に対しては、ここに厚く御礼を申上げる次第である。久松、澤瀉、小島三先生の御論考は、朝日新聞社講堂における記念講演の要旨に御加筆下さったものである。前輯に予告したやうに、平林先生も御執筆を御快諾下され、準備をすゝめられたのであるが、最近特に公務が御多忙となり本輯の締切りまでには御執筆を下さる御暇がなく、予告とは少し違ふ結果となった。購読者各位の御了承を仰ぎたい。

契沖二百五十年忌の記念事業として、円珠庵再建のために広く一般から寄附を募ってゐる。詳しくは本輯十四頁に掲載の円珠庵再建の趣旨を御一覽の上、なにとぞ御賛助を賜りたい。更に御知合ひの方にも御宣伝下さればありがたいことである。実行委員の方々の努力によって、すでに多額の寄附をされた向もあるが、何分多くの資金を必要とするので、大方の各位の御賛同をこひねがふ次第である。

第四輯は九月に出す予定で準備にかかってゐる。購読者も次第に増してゐるようで、投稿の原稿もふえつつある。たゞ編輯者の不馴れのため前輯も本輯も遅刊となったことは、謹んで購読者各位にお詫び申上げる。

（宇佐美）

⊠投稿規定⊠

○直接購読者は投稿することができる。
○原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百詰原稿用紙二十枚以内とする。
○原稿の送り先は「豊中市柴原、大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。
○原稿の採否は編輯委員に一任のこと。
○採用しなかつた原稿は返送料が添附してあれば返送に応ずる。
○一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

❖雑誌の寄贈・交換について

○雑誌の寄贈・交換は大阪府豊中市柴原 大阪大学文学部 国文学研究室宛に願いたい。

❖購読について

○購読希望者は発行所宛前金を添えて申込むこと。（送金は振替を利用されたい）

一部　四十円　送料　六円
一年分（四回分）百六十円（送料共）

○五冊以上一括購読の時は一割引の上送料は不要とする。

語文　第三輯

定価四十円
送料六円

昭和二十六年七月二十日印制
昭和二十六年七月二十五日発行

豊中市柴原
大阪大学文学部国文学研究室
編輯者　代表者　小島吉雄

大阪市南区横堀七丁目一九
発行者　前田春雄

大阪市西淀川区柏里町三ノ二九
印刷所　寿印刷株式会社

大阪市南区横堀七丁目一九
発行所　邦進社
電話船場(25)一九九〇番
振替大阪一二三一三五番